

私は、志賀原発と柏崎刈羽原発の廃炉を求める意見書について賛成の立場で討論します。

元日に石川県能登地方を襲った地震により、志賀原発は、原子炉を冷却する外部電源の損傷など、重大なトラブルが相次ぎました。柏崎刈羽原発も、使用済み核燃料プールから大量の冷却水があふれ出しました。稼働中であつたらどうなつていたのか。しかも原発再稼働の前提となる避難計画は、地震・津波災害に対応できないことが、いよいよ明瞭となりました。

避難計画にある道路は、破損、土砂崩れが多発し、集落は孤立状態になりました。逃げようにも逃げられません。また避難計画は、屋内退避が原則ですが、倒壊の危険性がある建物にとどまれというのか、津波から逃げずにとどまれというのか、命を守ることと根本的に矛盾します。

地震による原発の重大トラブル、避難計画の破綻が浮き彫りになりました。既に福島第1原発の事故で明らかなように、地震・津波国で安全な原発などない、大災害時に避難計画は全く機能しないと考えます。

よって、本市議会が国に対し、活断層が活発化している北陸地方にある志賀原発と柏崎刈羽原発の廃炉を強く求めることについて、賛成討論とします。